

第2回資金管理業務諮問委員会 議事概要

1. 日時: 2003年11月13日(木) 10時～12時20分
2. 場所: 財団法人自動車リサイクル促進センター313号室
3. 出席者: 永田委員長、酒井委員、辰巳委員、松田委員、
米澤委員、渡辺委員
4. 議題: ①資金管理業務規程(案)及び事業計画書(案)・収支予算書(案)について
②経理処理の基本的考え方について
③運用方針に関する基本的考え方(案)について
5. 議事概要
※本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については後日、議事録を公表いたします。

(1) 議題①について

「資金管理業務規程(案)の修正について」「資金管理業務規程(修正案)」「資金管理業務諮問委員会等における情報公開の考え方」「平成15年度資金管理業務に関する事業計画書(案)」「平成15年度資金管理料金特別会計 収支予算書(案)」について、資料3—1～5(含む参考)を使用して事務局から説明。

資金管理業務規程(修正案)、資金管理業務諮問委員会等における情報公開の考え方、平成15年度資金管理業務に関する事業計画書(案)は了解された。また、平成15年度資金管理料金特別会計・収支予算書(案)については、今年度の費用負担は当面の考え方に基づくこと、今年度の資金不足は来年度に金融機関からつなぎ資金を調達して充当する旨を脚注に追記することとして、資料の修正を委員長に一任することとなった。

<意見>

- 業務規程(修正案)については、これでよい。
- 情報公開の考え方については問題ない。
- 収支予算書(案)について、今年度は57百万円の赤字で、来年度借入れをすることが予定されている。来年度の債務負担行為を現時点で決めることになることから、その旨を脚注に表示しなければならない。

- 収支予算書(案)の注の記述がわかりにくい。今年度の費用負担は当面の考え方に基づくことを注記するなど、わかりやすい表現としてもらいたい。
- (財)自動車リサイクル促進センターの組織図について、指定法人機能を担うことや資金管理センターの独立性をわかりやすく表せるよう工夫すべきである。

(2) 議題②について

「資金管理センターにおける経理処理の基本的考え方」について、資料4(含む別紙、参考)を使用して事務局が報告。委員からは特段の意見は出なかった。

(3) 議題③について

「再資源化預託金等の運用方針に関する基本的考え方(案)」について、資料5(含む別紙、参考)を使用して事務局から説明。委員からは以下のような意見があった。

<意見>

- ラダー型の債券運用は安全確実な方法である。
- ラダー型の債券運用はインフレ時に利回りでついていけないという面があるので、インフレ時の対応をどうするか決めておく必要がある。
- 自動車保有台数の増え方をどう見積もっていくか、自動車の平均保有期間の変化などの状況変化に対応したシナリオ作りも重要である。
- 今後メーカーの努力によるリサイクルが容易な設計やリサイクル技術の進展によって、リサイクル料金の低下が予想されるため、そのことも考えてキャッシュフローの規模を考える必要がある。
- 預託されたリサイクル料金にどの程度の利息が付くかということは、国民の関心事項であり、そういう観点からの情報公開も重要である。
- 預託されたリサイクル料金等を運用するに当たって、期待利回りを定めてそれを下回らないように運用することが重要。また、期待利回りの設定の仕方、評価の方法についても今後詰める必要がある。
- 資金運用は、元本確保が一番重要であり、市場動向を踏まえた期待利回りはあくまでも元本確保を前提としたものであるべきである。
- 受託者としての資金管理センターの責任・責務についても「運用の基本方針」等の中で明示していくことが重要である。

以上